

# 高速5号線シールドトンネル工事の工事費増額について

令和元年11月14日  
広島高速道路公社

## 1 要旨

広島高速道路公社（以下「公社」という。）は、大林・大成・広成建設工事共同企業体（以下「JV」という。）との間で契約している高速5号線シールドトンネル工事について、工事費に関する精査を進めてきた結果、当初契約金額約200億円を約287億円と改めることで、JVと合意した。

## 2 精査金額の内訳

金額単位：億円、税込

項目		見積金額		精査金額		差額	
既 契 約	シールドマシン製作他工事	94.4		92.3		▲2.1	
	シールドトンネル掘削他工事	105.6		101.0		▲4.6	
	小計	200.0		193.3		▲6.7	
除 外 6 項 目	RCセグメント 他	(48.7)	52.6	(45.4)	49.1	(▲3.3)	▲3.5
	送排泥管材	(2.4)	2.6	(2.0)	2.1	(▲0.4)	▲0.5
	泥水輸送設備	(5.0)	5.4	(4.8)	5.2	(▲0.2)	▲0.2
	泥水処理設備 他	(4.0)	4.3	(3.9)	4.2	(▲0.1)	▲0.1
	拡幅掘削工 他	(2.7)	3.0	(2.7)	3.0	(±0.0)	±0.0
	電気料金	(3.9)	4.2	(3.6)	3.9	(▲0.3)	▲0.3
	諸経費相当額	28.5		26.4		▲2.1	
小計	100.6		93.9		▲6.7		
合計		300.6		287.2		▲13.4	

注1) 見積金額欄のうち、既契約欄は当初契約金額を、除外6項目欄は6項目を含んだ第2回見積の金額内訳を記載している。精査金額欄は、今回公社とJVとで合意した金額内訳を記載している（括弧内は税抜金額）。

注2) 契約後に生じた労務費等の高騰や現地条件の変更等に伴う工事金額の増減は含んでいない。このため、今後手続きを進めていく変更契約の金額とは異なってくる。

## 3 今後の対応

公社は、上記の精査金額を踏まえた必要な工事費を確保したうえで、JVとの変更契約の手続きを進めていく予定である。引き続き、地域住民の皆様の信頼回復に努めるとともに、安全・安心かつ着実に工事を進め、高速5号線の早期完成を目指していく。